

## 緑ヶ丘一丁目・三丁目地区における災害危険区域の指定解除について

## ○要旨

昭和53年に発生した宮城県沖地震後に指定された太白区緑ヶ丘1・3丁目地区の災害危険区域（4号区域）の解除にあたっては、平成26年10月に開催された、第36回仙台市宅地保全審議会にて現地で2年間の経過観測（動態観測・歪計設置等）を行い、地盤変動がない場合は災害危険区域（4号区域）を解除することが了承された。

この度、平成28年3月より実施していた2年間の経過観測（動態観測・歪計設置等）が完了し、新たな地盤の変動等が生じていないことから、仙台市宅地保全審議会へ結果の説明等を行った上で、災害危険区域（4号区域）の解除手続きを進めることについて報告する。

## ○災害危険区域解除の理由

## ① 緑ヶ丘3丁目地区の災害危険区域（4号区域）について

宮城県沖地震後に宮城県が地すべり対策を実施したが、東日本大震災において宅地被害が発生したため、宮城県による地すべり災害復旧事業並びに仙台市による滑動崩落対策事業を行い、宅地の耐震化を図った。

## ② 緑ヶ丘1丁目地区の災害危険区域（4号区域）について

宮城県沖地震後の地すべり対策が実施され、東日本大震災においても宅地に被害が認められなかったことから宅地の耐震化が図られている。

## ③ 経過観測（動態観測・歪計設置等）について

平成28年3月から2年間現地において経過観測（動態観測・歪計設置等）を実施し、新たな地すべり等、地盤に変動は生じていない。

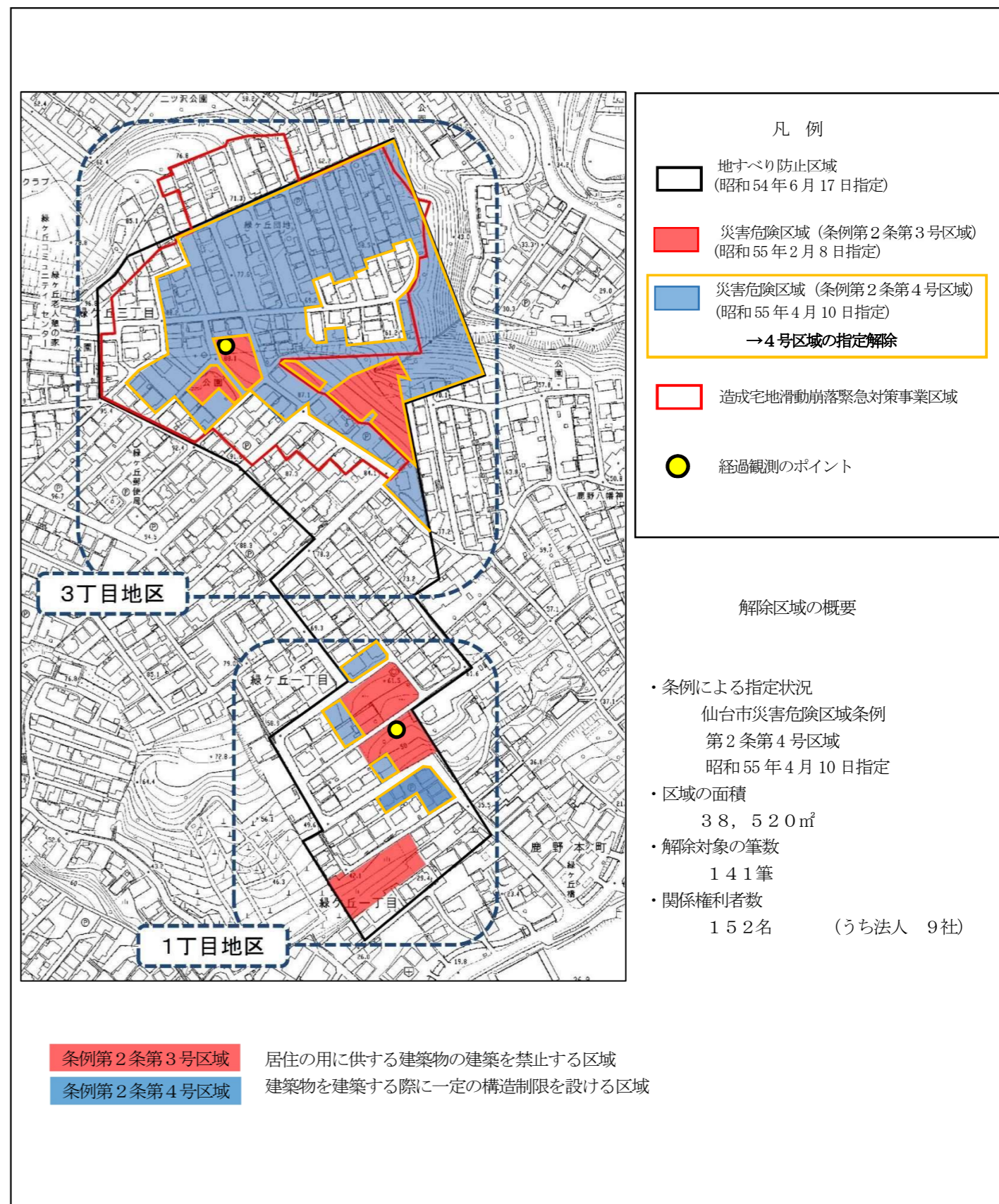
よって、緑ヶ丘1丁目・3丁目の災害危険区域（4号区域）は危険の著しい区域ではない。

## ○これまでの経過

- ・昭和53年 6月 宮城県沖地震により緑ヶ丘地区において宅地被害が発生
- ・昭和54年 1月 仙台市宅地保全審議会の答申により、緑ヶ丘1・3丁目地区は観測継続の必要性があると考えられており、著しい被害のあった区域について恒久的に宅地として不相当と判断
- ・昭和55年 2月 仙台市災害危険区域条例第2条3号区域指定（恒久的に宅地として不相当区域）
- ・昭和55年 4月 仙台市災害危険区域条例第2条4号区域指定（指定解除予定の継続観測区域）
- ・昭和54～55年 宮城県による地すべり対策工事実施
- ・平成23年 3月 東日本大震災発生、3丁目地区に新たな宅地被害が発生。
- ・平成23～25年 宮城県による地滑り対策工事実施（深いすべり対策）（3丁目地区）
- ・平成25～27年 仙台市による滑動崩落対策工事を実施（ひな壇すべり対策）（3丁目地区）
- ・平成26年10月 仙台市宅地保全審議会に説明、4号区域指定解除について了承。  
3丁目地区の滑動崩落対策工事完了後、2年間経過観測の結果を報告の上、指定解除を行うことを了承
- ・平成27年10月 仙台市施行による滑動崩落対策工事完了
- ・平成28年 2月 現地の経過観測（動態観測・歪計設置）を2年間実施。平成30年3月に観測終了。

## ○今後の予定

- ・令和2年3月上旬 地元説明
- ・令和2年3月下旬 指定解除



# 災害危険区域解除に係る観測調査業務 業務概要書 (1/2)

## 1. 業務概要

- 業務名：災害危険区域解除に係る観測調査業務
- 業務の目的：本業務は、地質調査・パイプ式歪計・水位計を用いて地盤の移動観測を実施し、その計測値に基づく監視を行い安全管理に資するとともに、災害危険区域解除のための基礎資料を得ることを目的とした。
- 業務場所：仙台市太白区緑ヶ丘一丁目・三丁目地内
- 工期：(自)平成28年2月8日～(至)平成30年3月9日
- 発注者：仙台市 都市整備局
- 受注者：株式会社 復建技術コンサルタント

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目7番25号

TEL：022-262-1234 (代表)

022-217-2030 (直通：調査保全部 宅地耐震化室)

FAX：022-217-2038 (直通：調査保全部 宅地耐震化室)

管理技術者：市川 健 (技術士：総合技術監理部門、建設部門)

照査技術者：三上 登志男 (技術士：建設部門)

担当技術者：山口 秀平 (技術士補：建設部門)

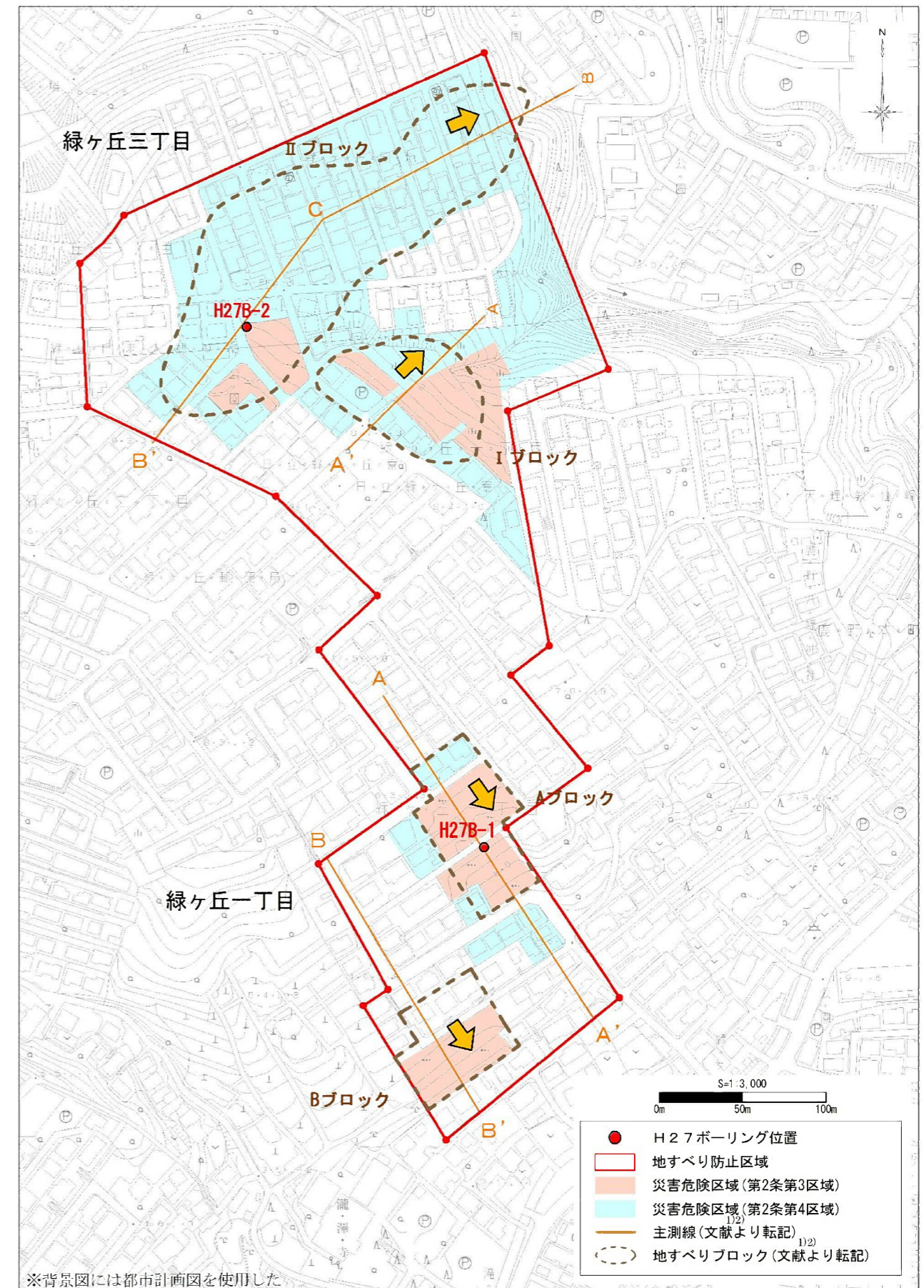
担当技術者：佐藤 真吾 (技術士：総合技術監理部門、建設部門)

担当技術者：村上 智昭 (技術士：応用理学部門)

## 2. 業務項目および実施数量

工種	種別	細別	単位	数量		
				設計	実施	増減
地質調査業務	機械ボーリング (1丁目地区)	φ66mm 礫混じり土砂	m	15.7	15.7	—
		φ66mm 軟岩	m	9.3	9.3	—
	機械ボーリング (3丁目地区)	φ66mm 礫混じり土砂	m	20.8	20.8	—
		φ66mm 軟岩	m	11.2	11.2	—
	標準貫入試験 (1丁目地区)	礫混じり土砂	回	15	15	—
		軟岩	回	10	10	—
	標準貫入試験 (3丁目地区)	礫混じり土砂	回	20	20	—
		軟岩	回	12	12	—
	総合解析		式	1	1	—
	地すべり調査業務	パイプ式歪計 (1丁目地区・3丁目地区)	設置	孔	2	2
撤去			孔	2	2	—
観測			回・箇所	24	24	—
地下水水位観測 (1丁目地区・3丁目地区)		設置	箇所	2	2	—
		観測	箇所・月	24	24	—
報告書作成		資料整理	箇所・孔	24	24	—
			式	1	1	—
打合せ			式	1	1	—

## 3. 調査位置



- 「1978年宮城県沖地震調査報告書(土木学会東北支部、昭和55年4月30日)」
- 「平成22年度 災調(予備)02401-B01号 緑ヶ丘外地すべり災害測量設計業務委託報告書(宮城県仙台土木事務所)」